

## 平成26年度私立学校初任者研修北海道・東北地区研修会 実施報告（概要）

本年度の同研修会は、8月6日(水)から8日(金)の2泊3日の日程で、札幌ガーデンパレス(北海道札幌市)を会場として参加者84名で北海道私立中学高等学校協会の実施で開催した。

開会式では、主催者として当研究所の中川武夫所長、開催地代表として北海道私立中学高等学校協会森本正夫会長が挨拶をした。また、同協会研修部武田洋子部会長から指導員等の紹介がされた。

開会式に引き続き中川武夫所長の「私学教育の現状と課題」と題した講演では、私学教員としての心構え、現在の教育政策の方向性と私学の立場など中教審の動向などが述べられた。また当研究所のホームページの活用を呼びかけた。



今回の研修会では、全体講演としては、中川所長の講演と2日目に「中高生における携帯電話・スマートフォン利用の現状と問題点について」と題した北海道情報専門学校伊藤禎之教務部長による講演が行われ、安易なメール発信による取り返しの付かない事態に陥ること。また生徒への指導と保護者への説明の在り方の違いなどについて述べられた。

これらの講演の他に4分科会(学習指導、生徒指導、学級経営、特別活動)が設置されており、参加者は、4グループに分かれて設置された4分科会全てを協議するプログラムになっている。

分科会では自己紹介にはじまり、事前に提出したレポートに基づき約2時間余りの協議が行われた。各グループでは代表者が選ばれ、各分科会の指導者と共に進行・運営を行った。

また、初日の夜には、懇談会が催され、同協会西岡憲廣副会長も出席、参加者、指導員及び運営委員が夕食を共にしながら交流が図られた。



最終日となる3日目は、各分科会の報告を各グループの代表者が発表し、また指導助言者から担当分科会全般についての講評が述べられた。

学習指導分科会



生徒指導分科会



学級経営分科会



特別活動分科会



引き続き行われた閉会式では、当研究所の初任者研修等事業検討委員会平方邦行委員長から、今、日本の教育は大きく変わろうとしている。グローバル社会と言われている21世紀における教育の在り方、世界標準の教育、そして共通言語としての英語、様々な取組の中、これから必要とされる人材育成のため先生方には頑張っていたいただきたいとの挨拶がされた。

挨拶後、参加者の代表に修了証が授与され3日間の研修会を修了した。

なお、この北海道・東北地区研修会は、北海道及び東北地区が合同で開催をしてきたが、平成27年度より北海道地区研修会及び東北地区研修会(青森 岩手 宮城 秋田 山形 福島)としてそれぞれの地区で開催をする。

